

3 中間案について

南部地区において想定される生徒数の減少等を踏まえて、大河原町内にある2つの専門高校を再編し、地域のニーズを踏まえた魅力ある高校づくりを推進するため、新たな職業教育拠点校を設置することとした。その目的は以下のとおりである。

- 専門的な知識や技術を持ち、地域産業を担う人材の育成
- 6次産業化を軸とした学科間連携による発展的な専門教育の展開
- 地域産業や地域社会との連携・交流の充実及び地域ブランドの創出等を通じた地域振興への貢献

本県としては初となる、地域の関係者をメンバーとする検討組織である「大河原地域における高校のあり方検討会議」を設置し、検討項目を（1）今後の農業教育・商業教育について、（2）新しい学校に期待すること、（3）魅力ある学校づくりに向けた地域との連携等について、（4）新しい学科について、と設定し、検討を行った。

(1) 今後の農業教育・商業教育について

① 農業教育

柴田農林高等学校では、平成18年度より食農科学科、動物科学科、森林環境科、園芸工学科の4学科構成とし、多様な産業界で活躍できるふるさと定住後継者の育成を目指し、地域や生徒の実態に即して、特色と魅力ある幅広い職業教育及び職業準備教育を展開している。

今後の農業教育に関して、検討会議において出された主な意見は以下のとおりである。

- 6次産業化への取組の推進
- マーケティングの手法や流通に関するノウハウの導入
- 大学や農業関連団体などと連携した取組の推進
- 専門性の向上

②商業教育

大河原商業高等学校では、平成12年度より流通マネジメント科、情報システム科、OA 会計科の3学科構成とし、卒業後にビジネス界で活躍する生徒及び大学等で専門的に学ぶ力を発揮する生徒の育成を目指している。「規律」、「教養」、「資格取得」、「部活動」の4つの分野に重点的に取り組み、「大商ブランド」の強化を図っている。

今後の商業教育に関して、検討会議において出された主な意見は以下のとおりである。

- 就職、進学双方に対応できる学校づくりの推進
- IT に関する知識やネットビジネスに関する知識の導入
- より高度な資格取得の促進
- ビジネススペシャリストの育成

③農業・商業共通

大河原町内にある2つの専門高校を再編し、農業と商業を融合させた魅力ある学校づくりを目指し、新たな「職業教育拠点校」を新設することから、検討会議においては、農業と商業をつなぎ、発展させるための有効な手法についての意見交換を行った。主な意見は以下のとおりである。

- 各専門分野の基礎・基本知識の確実な定着の促進
- 大学、地域の企業及び関係団体等との連携の促進
- 外国語によるコミュニケーション能力や情報の処理能力の育成
- ネットビジネスのノウハウやマーケティングの力をもった人材の育成
- デザイン力を活用した付加価値のある商品開発能力の養成
- インターネットを活用した販売戦略、企画能力の養成

(2) 新しい学校に期待すること

検討会議において、新たな「職業教育拠点校」に期待することについて意見交換を行った。主な意見は以下のとおりである。

- 時代のリーダーシップをとっていけるような学校
- 全国に先駆けるような学科や指導内容
- IT を活用した教育活動や6次産業化に向けた取組
- 地域との連携が図られ、地域とともにある学校
- 地域に貢献できる人、さらに日本全体に貢献できる魅力ある人材の育成
- 海外を視野に入れた語学力や情報、デザイン等も勉強できる学校

(3) 魅力ある学校づくりに向けた地域との連携等について

学校と地域との連携については、高等学校学習指導要領(平成21年3月)や第2期教育振興基本計画(平成25年3月)においても、活力あるコミュニティの形成に向けて、学校と地域社会や産業界等が連携、協働した教育活動の充実について謳われており、各学校においても様々な取組がされているところである。

学校と地域との連携に関して、検討会議において行った意見交換の内容は以下のとおりである。

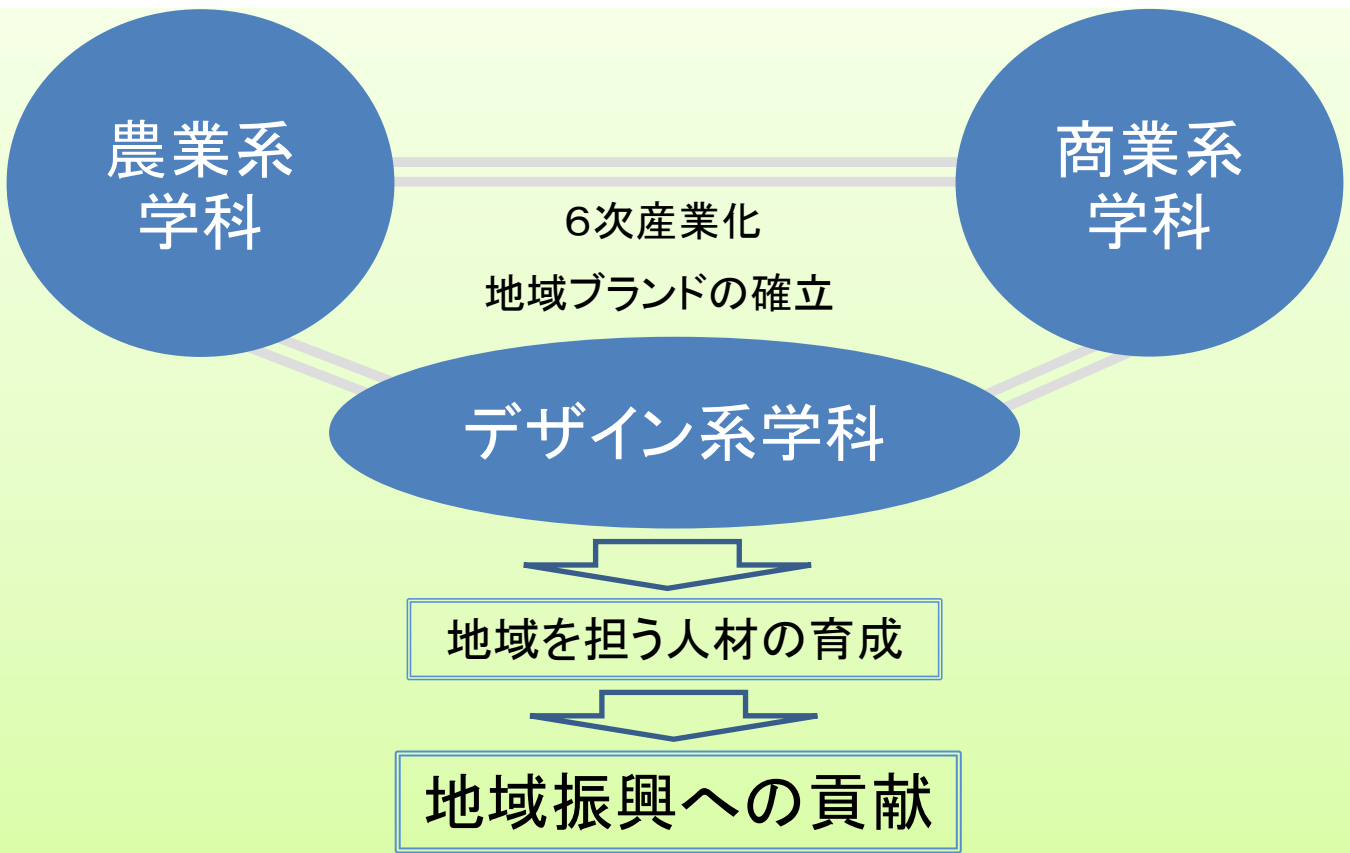
(※第4回検討会議内容を記載)

(4) 新しい学科について

新たな「職業教育拠点校」における農業と商業を結ぶ新しい学科について、検討会議において意見交換を行ったところ、「両校の伝統とそれぞれの分野での強みを活かす学科や地域社会が発展できるような学科」、「地域の担い手となる生徒を育成できるような学科」といった意見が出された。具体的な学科としては、「情報系の学科」、「情報デザイン系の学科」、「外国語系の学科」、「国際ビジネスの学科」、「(地域)ブランド学科」が挙げられた。

検討の結果、下記の理由により、新学科のイメージを別紙のとおりとした。

- ① 6次産業化をキーワードとして、農業、商業との連携が幅広く考えられること
- ② 子どもたちにとって、学校選択の幅が広がること(南部地区にない学科)
- ③ 学校全体として、再編が目指す「地域ブランドの確立を通じた地域振興への貢献」に沿うこと



デザイン系学科

学科概要

- デザインに関する専門的技術者を育成
- 農業・商業学科との連携を通してモノづくりに貢献できる人材の育成
- 地域の魅力を発掘してブランドを創出し、発信できる人材を育成

学科内容

- 宣伝広告等印刷物に関するグラフィックデザイン及びWebデザイン
- 商品企画開発やパッケージデザイン
- 地域デザイン・プロデュース 等

将来の活躍分野

- グラフィックデザイナー, Webデザイナー
- 企業の商品企画開発
- 企業や自治体(行政)の企画広報 等

- ◇ 6次産業化や地域ブランドの創出等地域振興関連については、3学科共通して目指すものとし、さらに3学科連携した取組を通して地域の魅力の向上を図る。
- ◇ 語学力及びコミュニケーション能力の養成については、学校全体で取り組む。
- ※ 学科の名称や学習内容等詳細については、各学科の教員代表及び県教委で構成する「統合校教育基本構想検討会議」で別途検討する。